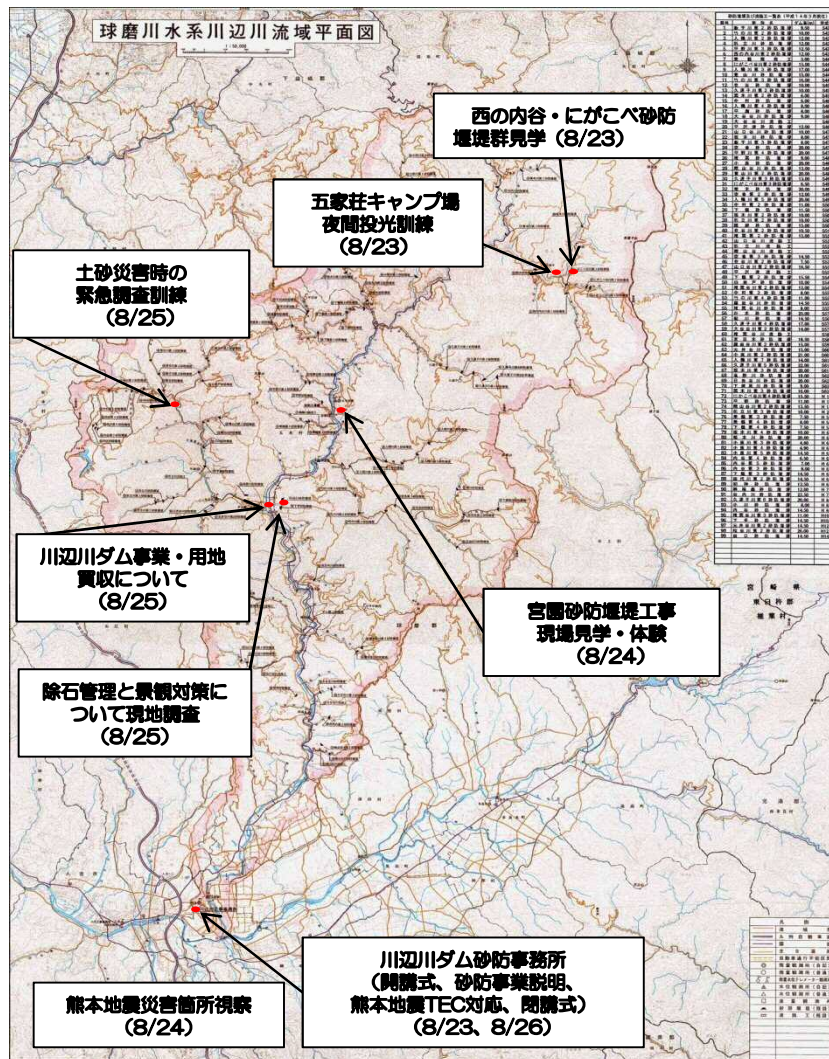


キャンプ砂防2016 in 川辺川の事例紹介

2016

8/23 ▶ 8/26

キャンプ砂防経路図



8 / TUE 23

- ◆開講式・ガイダンス
- ◆砂防事業説明
- ◆熊本地震TEC対応
- ◆砂防堰堤群見学
- ◆夜間投光訓練



砂防事業説明



開講式



夜間投光訓練

キャンプ場

8 / WED 24

- ◆工事現場見学・体験
- ◆熊本地震災害箇所視察



工事現場見学・体験



工事現場見学・体験



熊本地震災害箇所視察

砂防堰堤施工箇所見学

キャンプ砂防2016 in 川辺川の事例紹介

2016

8/23 ▶ 8/26

8/25
THU

- ◆土砂災害時の緊急調査訓練
- ◆除石管理と景観対策
- ◆川辺川ダム事業・用地買収について

土砂災害時の緊急調査訓練



レーザー計測



除石管理と景観対策

川辺川ダム事業・用地買収について



8/26
FRI

- ◆成果発表
- ◆閉講式

閉講式



成果発表

記念撮影



参加学生の声 レポートより抜粋

実際に国土交通省で勤務している方や現地で災害の脅威にさらされた方から話を聞くことで現場のリアルな声や実物で見る災害の爪痕が感じ取れ、それらの災害の脅威に対して諦めることなく自然と向き合い共存していこうとする意志を、研修中いたるところで感じることができた。

研修を受けて考えてみると形のない情報を用いるソフト対策もハード対策と同等以上に重要な砂防事業の一つであると考えさせられた。

(2016参加 弘前大学 農学生命科学部地域環境工学科3年・男)

大規模な崩壊箇所を必死に修復しようと少し離れた場所で黙々と無人化機械を操作するオペレーターの方の姿や、現場で必死に作業にあたる方々の姿に感動した。私も将来そういった人の生活を守っていけるような仕事に就きたいと思った。

国家の仕事の良いところ大変なところ、国交省の仕事について知ることができた。この話を参考にして自分の将来を決めていきたいと考えた。

(2016参加 鹿児島大学 農学部生物環境学科3年・女)

一緒にキャンプ砂防に参加した工学部出身の二人は私が知らないコンクリートや地質などの知識を持たれていて、こういった世界もあるのかと視野が広くなり、コンクリートについての興味がわき、勉強したくなりました。

土砂災害に対する国民の関心はかなり低いと感じるので、土砂災害について、砂防事業についてもっと情報を発信していかないといけないと思います。

地球環境が急激に変化している今、砂防の役割はとて大きくなっているのを少しでも担っていける人材になればと思います。キャンプ砂防はそれを思う大きなきっかけを作り出して頂いたので感謝しています。

(2016参加 鹿児島大学 農学部生物環境科3年・男)

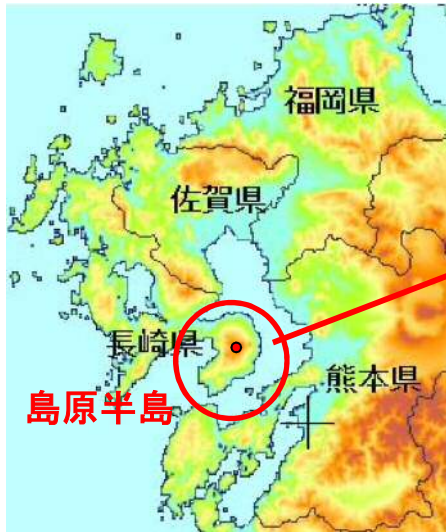
レーザーを用いた崩壊規模の特定、衛星携帯電話をつかった通信訓練、調査内容の記録などを行い災害発生後の緊急対応訓練などの対策方法を学んだ。

TEC-FORCE隊員から直接訓練指導をして頂くことができ、今回キャンプ砂防の参加目的であった災害調査訓練手法を学ぶことができよかった。

キャンプ砂防を通じて、その事務所の立地場所、目的に応じて異なる業務をしていることを確認できた。

(2016参加 山梨大学 工学部土木環境工学科3年・男)

キャンプ砂防 2016 in 雲仙



無人化施工



1日目



事業概要説明



被災現場視察



座学「火山噴火と社会-災害対策と復興」

キャンプ砂防 2016 in 雲仙

2 日目



講義「島原半島と自然災害」



ジオツアー

3 日目



炭酸泉(雲仙市)



講義「安中嵩上げ・われん川について」

キャンプ砂防 2016 in 雲仙

4日目



成果発表



修了証授与

閉講式



～参加学生の声～

キャンプ砂防に参加したことによって普段の座学では知ることのできない貴重な体験をすることができた。
(弘前大学 農学生命科学部 3年)

市役所や国土交通省、住民が一体となってジオパークを媒体に、災害を伝えていこうとする取り組みを
よいものと思った。
(山梨大学 工学部 3年)

生の砂防現場や住民の人の声、多くの職員さんの話、意識の高い学生の話など今回自分の刺激となる
ものがたくさんあった。
(鹿児島大学 農学部 3年)

ジオパークツアーでは、火山と島原の人が歩んできた歴史がなんだか紐解かれるように感じて、
すごくおもしろいな、もっと勉強したいなと感じました。
(鹿児島大学 農学部 3年)